



昔ながらの稲刈りを体験しました

収穫の秋を体感しました  
**岩館小学校で「稲刈り体験学習」**  
 9月19日、岩館小学校で稲刈り体験学習が行われ、3〜6年生が参加し黄金色に実った稲を丁寧に刈り取っていました。  
 この稲刈りは自分たちが田植えをした小入川の川村清一さんが所有する田んぼで行われ、通学路沿いにあることから、子どもたちは毎日、通学のときに稲の成長を観察し、待ちに待った収穫となりました。  
 子どもたちは、手で刈り取り、杭がけに掛ける昔ながらの稲刈り作業を体験。額に汗を浮かべながらも、楽しそうに笑顔で作業に取り組んでいました。



目指せ！1等賞

元気いっぱい走り回りました  
**ユニークな競技を親子で楽しんだ子ども園運動会**  
 町内の子ども園の運動会が9月6日と13日に行われ、園児たちは楽しそうに元気いっぱい駆け回りしました。  
 埴川子ども園では親子での大玉ころがしリレーなどたくさんさんのユニークな競技が行われ、園児たちはお父さんやお母さんの手を引っ張りながら走り回っていました。また、一生懸命にお遊戯をしているかわいらしい姿に目を細めながら、カメラを持つて撮影する親子の姿がこちらこちらで見られ、ほのぼのとした光景が広がっていました。

3小学校合同鑑賞会  
**「劇団野ばら」の演劇を鑑賞**



役者が演じる舞台に引き込まれていました

9月7日、八森、観海、岩館小学校の来春の統合を記念した合同鑑賞会がファガスで行われ、3校の児童196名らが劇団「野ばら」の舞台を鑑賞しました。  
 上演されたのは「あした あさって しあさって」。ある時、大好きなゲームの世界に吸い込まれた小学生の男の子が、主人公の「勇者」になって不思議な体験をしながら、家族や友達、動物などを思いやる「やさしさ」を取り戻していくストーリーで、児童達は本物の役者の演技や歌などに引き込まれていました。

たいまつを掲げて霊を供養  
**本館地区の伝統行事「たいまつ祭り」**



幻想的なたいまつ行列

9月14日、本館地区の伝統行事「たいまつ祭り」が、本館城跡地で行われ、地域住民など約70名が参加しました。  
 このたいまつ祭りは、厳しい地検や税の取立てに苦しんだ領民が、慶長10年（1605年）に一揆を起し、本館城が落城。その後、飢饉や疫病が続き、城主や一揆に加わって命を落とした領民によるたたりではないかと恐れられた領民が、たいまつを掲げて霊を供養するのが始まりです。  
 この日は、城跡で松源院の住職らが経を読むなど供養祭を行い祭鼓連の太鼓演奏が披露されたあと、参加者がたいまつを手に集落へ向けて出発。山道には、幻想的な長い列が続きました。

ふれあい農園で  
**子ども園児らが芋ほりを体験**



たくさんの方が参加しました

豊かな森から豊かな海へ  
**「私の青空森づくり」白神の植樹が行われました**

9月21日、八森地区のナメトコ沢で環境保全活動「私の青空 森づくり」が開催され、県内外から参加した約80名がブナの苗木を植樹しました。  
 この植樹は、町と全日空（ANA）、大館能代空港ターミナルビルの3者の主催で行われたもので、白神山地周辺の環境を守り、さらに日本海に良質の水が流れることで魚が産卵する藻場を育成しようと3か年計画で実施され、今年はその2年目で3回目の開催です。  
 参加者らは、それぞれ思いを書いた立て札と一緒に、苗木を丁寧に植樹していました。



ブナ林の中を散策

10月4日、世界自然遺産白神山地自然観察会「つつまれてブナの白神」が行われ、町内外から15人が参加しました。  
 ぶなつらんどふれあい館でオリエンテーションを行ったあと、登山口である青秋林道終点へ移動し、二ツ森を登山。紅葉真っ盛りにはまだ少し早い時期でしたが、参加者たちは、かすかに色づき始めた木々を眺めながら、マイペースで山頂を目指しました。  
 山頂では視界が良好で白神山地のブナ林や岩木山を一望することが出来、参加者は雄大な自然を満喫していました。  
 登山のあとは、ふれあい館に戻ってブナの押し葉パウチ作りを行い、思い出に残るカードにしようと一枚一枚丁寧に作っていました

秋の白神山地を満喫  
**白神山地自然観察会「つつまれてブナの白神」**



よいしょ！よいしょ！

このほど、子ども園児らによるサツマイモ掘りが行われ、子どもたちは収穫の秋を体験しました。  
 この収穫体験は6月に植えたふれあい農園で行われ、子ども園では初めての試み。子どもたちはこの日を待ちわびていました。  
 子どもたちは畝の間にしゃがみ込み、サツマイモを目指して土を掘り始めると「あったー！」「大きいー！」と畑は大騒ぎ。なかにはツルに連なった「大物」を引き抜いて手や顔を泥だらけにしながら「ヤッター」と喜ぶ姿も見られるなど、おいしいさつまいもがたくさんとれて、みんな大満足の様子でした。



祝！100万人達成

「おらほの館」  
**オープンから10年 買い物客100万人達成**

産直施設「おらほの館」の買い物客数が25日、100万人に達しました。  
 100万人目となった能代市の池内聖子さん（66）と娘のみづほさん（37）は、これまでも「ちよくちよく」利用しているそうで「突然でびっくりしています。安くて新鮮なものがそろっているのでもっとも利用したい。」と嬉しそうに話していました。  
 花束やハタハタ館ペア宿泊券などが池内さんへ贈られくす玉が割られたほか来館者には赤飯が配られ、オープンから10年の節目を迎えて達成した偉業を祝っていました。